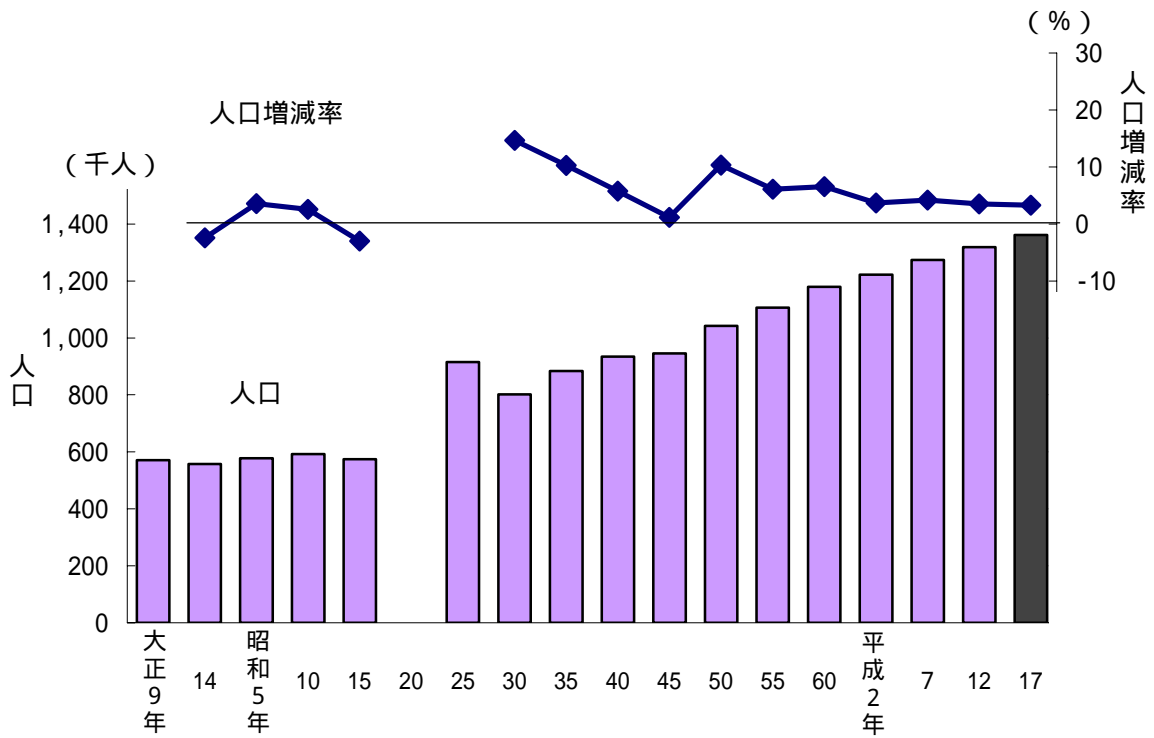


結 果 の 要 約

- 1 平成 17 年 10 月 1 日現在の沖縄県の人口は 1,361,594 人で、前回調査の 12 年に比べ 43,374 人、3.3%増加している。
- 2 人口を市町村別にみると、那覇市が 312,393 人（県人口の 22.9%）で最も多く、次いで沖縄市が 126,400 人（同 9.3%）、うるま市が 113,535 人（同 8.3%）、となっており、最も少ないのは渡名喜村の 531 人（同 0.0%）となっている。
- 3 人口を男女別にみると、男性が 668,502 人、女性が 693,092 人で、女性が 24,590 人多く、人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は、平成 12 年の 96.6 から 96.5 と低下している。
- 4 人口を年齢別にみると、15 歳未満人口は 254,203 人（県人口の 18.7%）、15～64 歳人口は 888,046 人（同 65.2%）、65 歳以上人口は 218,897 人（同 16.1%）となっている。これを平成 12 年と比べると、それぞれ、1.3 ポイント低下、0.2 ポイント低下、2.3 ポイント上昇している。
- 5 15 歳以上人口の配偶関係をみると、有配偶率は男性が 54.5%、女性が 51.8%、未婚率は男性が 36.8%、女性が 27.4%となっている。
- 6 県内に在住する外国人は 6,897 人で、平成 12 年に比べ 208 人、3.1%増加している。
- 7 沖縄県の一般世帯数は 486,981 世帯で、平成 12 年に比べ 46,886 世帯、10.7%増加している。また、一般世帯のうち 1 人世帯は 133,567 世帯（一般世帯の 27.4%）と最も多くなっている。
一般世帯の 1 世帯当たり人員は平成 12 年の 2.91 人から 2.74 人と減少している。
- 8 世帯の家族類型をみると、核家族世帯は 302,324 世帯（一般世帯の 62.1%）で、このうち夫婦のみの世帯は 66,422 世帯（同 13.6%）、夫婦と子供から成る世帯は 173,100 世帯（同 35.5%）となっている。また、単独世帯は 133,567 世帯（同 27.4%）となっている。
- 9 65 歳以上親族のいる一般世帯は 145,193 世帯（一般世帯の 29.8%）で、このうち「一人暮らし高齢者」（65 歳以上の単独世帯）は 34,587 世帯（65 歳以上親族のいる一般世帯の 23.8%）、高齢夫婦世帯^{（注）}は 29,504 世帯（同 20.3%）となっている。
（注）夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上の夫婦 1 組の一般世帯
- 10 住居の状態をみると、住宅に住む一般世帯の持ち家率は 51.8%で、平成 12 年に比べ 2.5 ポイント低下している。また、住宅に住む一般世帯の 1 世帯当たり延べ面積は、平成 12 年の 76.1 m²から 75.7 m²と狭くなっている。

図1 沖縄県の人口及び人口増減率の推移（大正9年～平成17年）



昭和25年～30年の増減率を求める際の昭和25年の人口には奄美群島の人口（216,110人）を除く。

図2 沖縄県の年齢（各歳），男女別人口（平成7年・17年）

